

台風15号の被害状況と 九州宮崎県における 台風害対策について

鹿行農林事務所 経営・普及部門

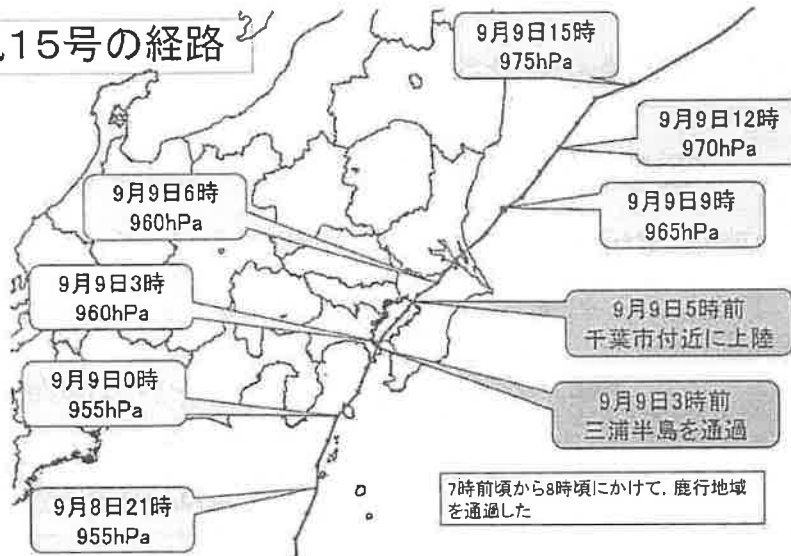
1

はじめに

- ・台風15号の経路・気象状況
- ・鹿行地域のハウスの被害状況

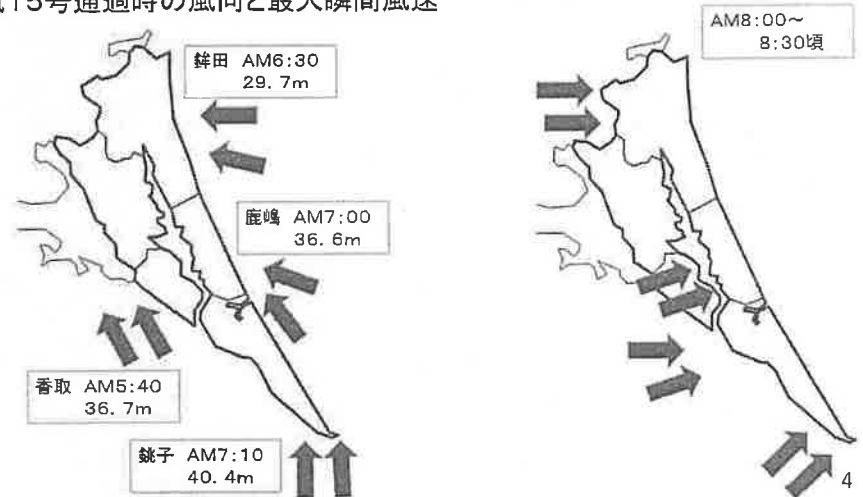
2

台風15号の経路



3

台風15号通過時の風向と最大瞬間風速



4

鹿行地域の主なハウスの種類について

- 一般的なパイプハウス(パイプ径22.2mm)
- 強化パイプハウス(パイプ径25.4mm)
- KAPハウス, ストロングハウス(パイプ径48.6mm)
- 低コスト耐候性ハウス(鉄骨, コンクリート基礎)

作物や作型, 地域によって様々な種類が導入されている

5





押しつぶされる

9

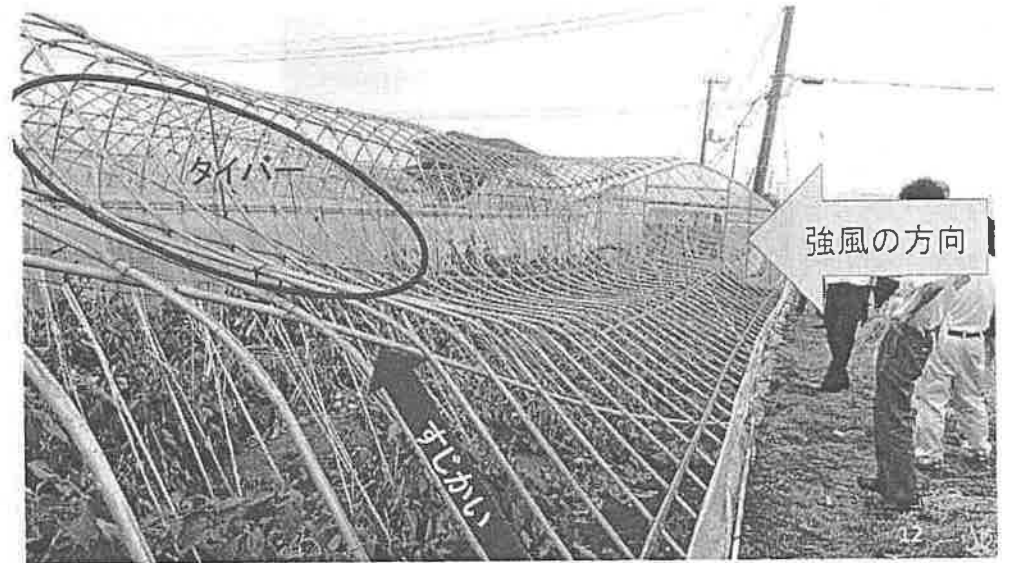


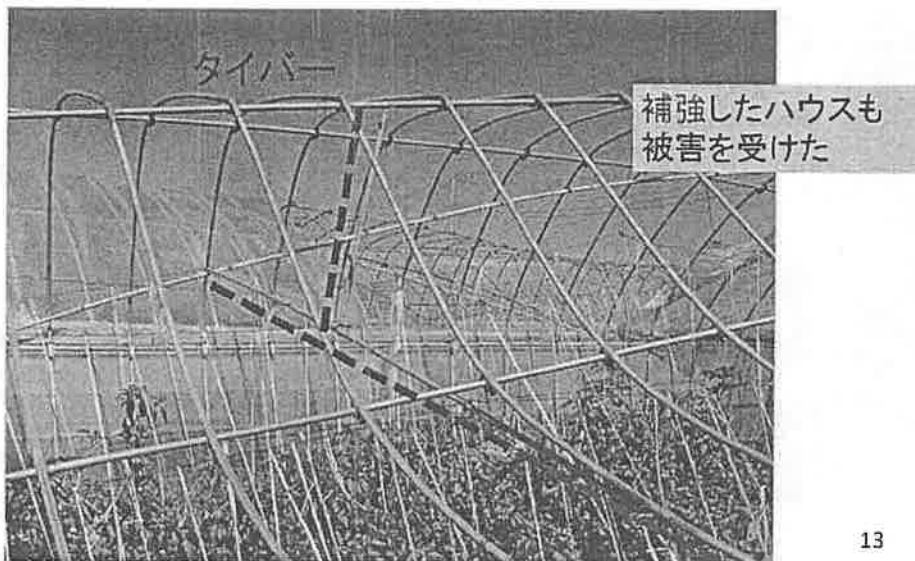
パイプが浮き上がる

10

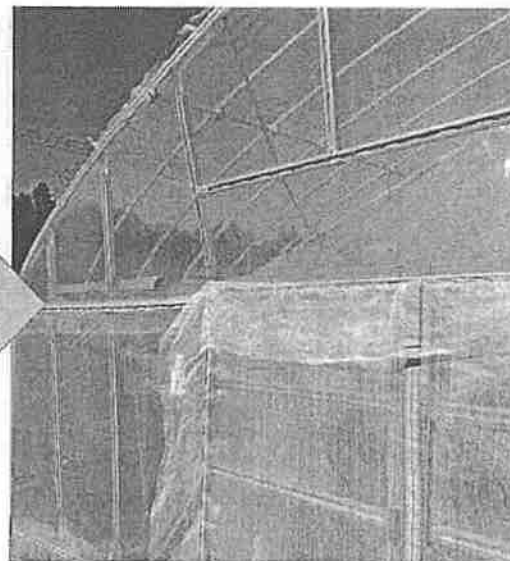


鉄骨ハウスの被害も一部で見受けられた





13



14



15



16



17

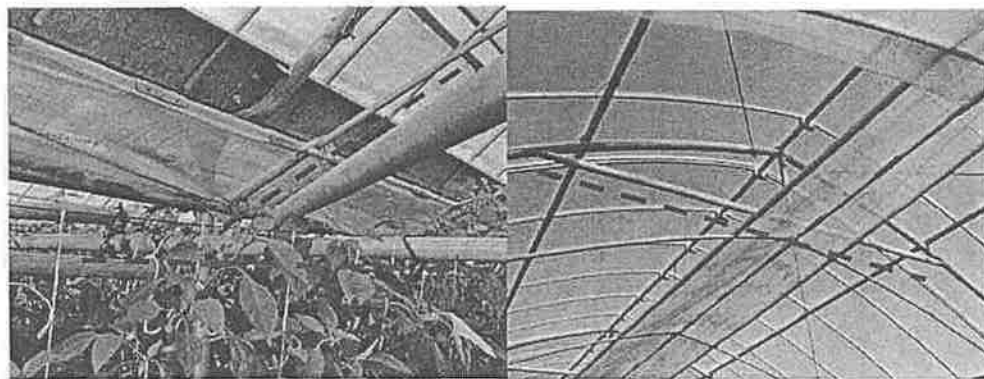


18



19

太いパイプやタイバーで補強

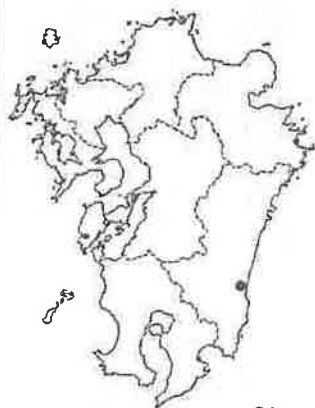


パイプ径 48.6mm

20

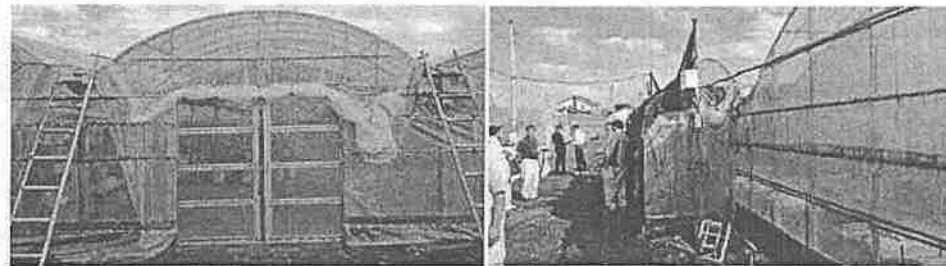
宮崎県における 台風害対策について

宮崎県宮崎市の事例



21

今回、宮崎県で最も普及している
「APハウス」(全体の約77.5%)を視察



費用 概ね700万~800万/10a

22

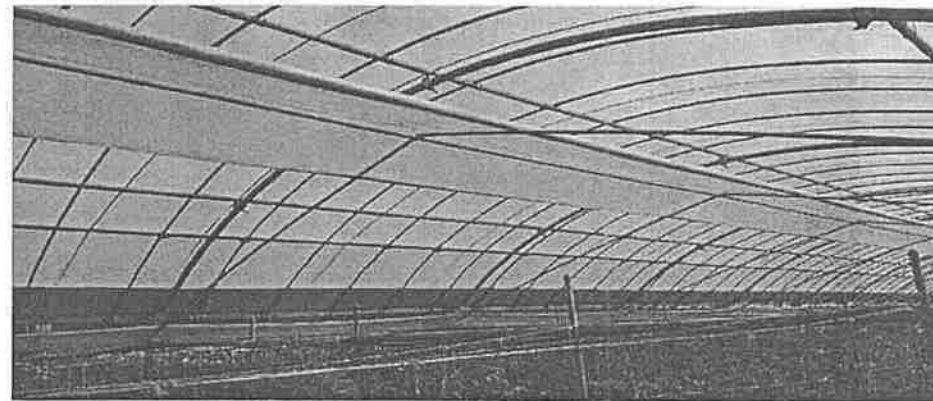
ハウスの中の様子



連棟ハウスが基本

23

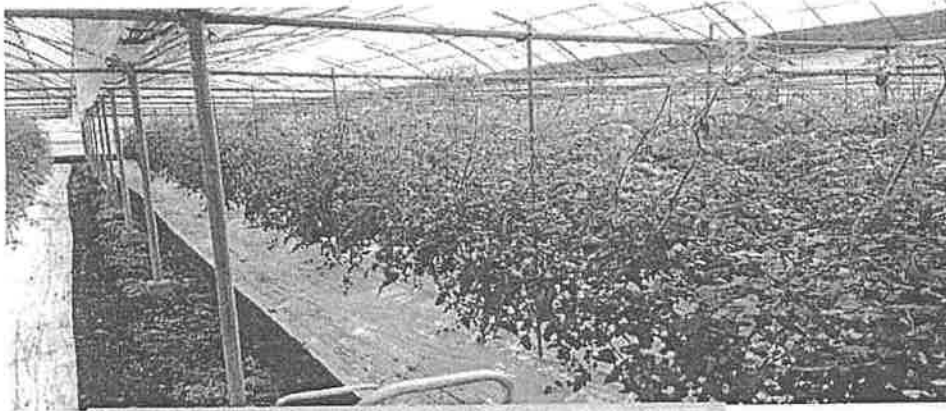
天井部



アーチパイプは19mmが50cm間隔、42mmが2.5m間隔で配置
母屋パイプは38mmが3列配置

24

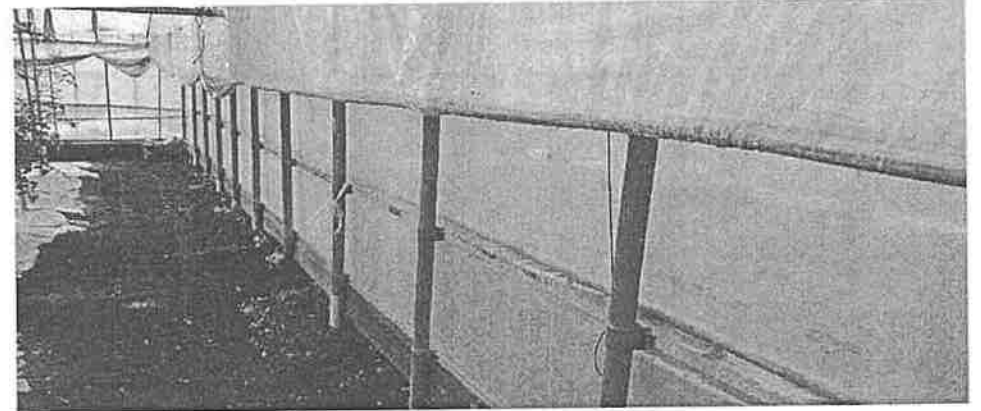
作物荷重パイプ



外側と谷部の柱には60kgのコンクリート基礎が設置
各柱ごとに作物荷重パイプが設置

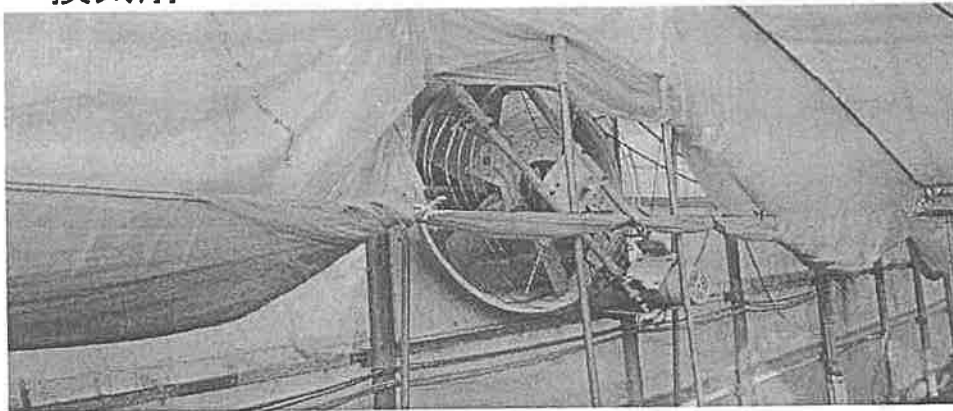
25

妻部



26

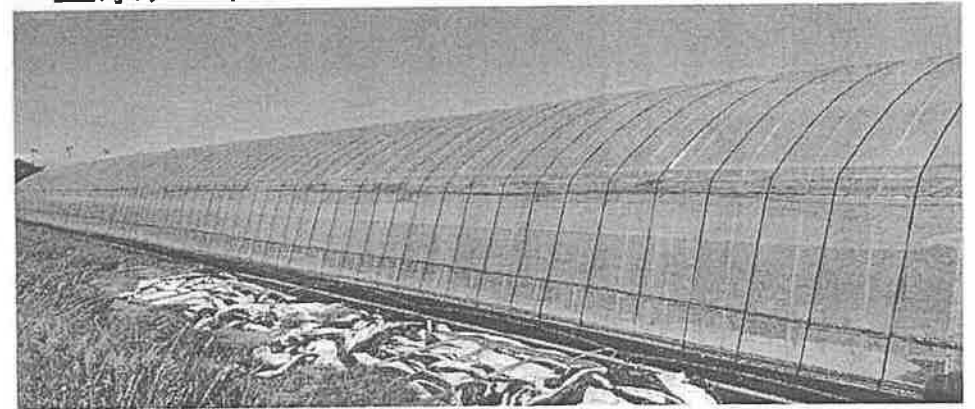
換気扇



台風時は換気扇を回して内部を負圧にする

27

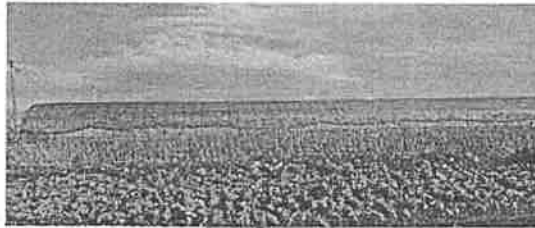
止水シート



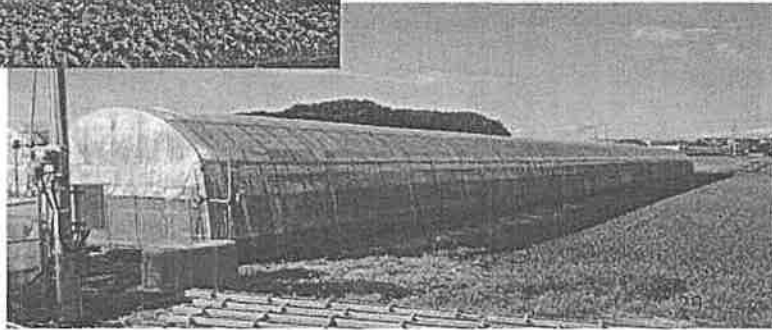
止水シートが地下30cmまで埋まっており、水の流入を防いでいる

28

周囲のハウス



開口部に防風ネットを設置



ハウスの部材



アーチパイプの地下部には
錆止め処理がされている

最後に

- APハウスは決して台風能耐えられるハウスではない
※台風時は被覆を剥がすことが基本
- 宮崎は台風を避ける作型が中心
※定植のメインは10月上旬
※定植の早いものは耐候性ハウス